

目 標 値

評価期間 : 平成33(2021)年度末まで

成果目標 :

【新設】4年間の肝炎ウイルス受検者を3万人以上とする。

評価指標:平成30年度からの4年間の累積受検者数

$$= \text{市町村実施(特定検診)} \\ + \text{委託医療機関及び保健所での検査(重症化予防事業)} \\ + \text{公社把握事業所検診} \\ + \text{協会けんぽ加入事業所検診}$$

理由 肝炎対策には、肝炎ウイルス検査受検者を増やすことが必須であり、それを目標値とした。

【変更】要精検者の精密検査実施医療機関受検率を向上させる。(平成29年10月設定)

新) 評価指標:要精検者の受検率 60%以上

$$= \frac{\text{翌年度末までの初回精密検査費用助成申請者数}}{\text{前年度肝炎ウイルス検査陽性者数(市町村実施+委託医療機関及び保健所実施)}}$$

旧) 評価指標:要精検者の受検率 90%以上

$$= \frac{\text{翌年度末までの精密検査受診の報告者数}}{\text{前年度肝炎ウイルス検査陽性者数(委託医療機関及び保健所実施)}}$$

理由 要精密検査対象者を県の把握分に市町村把握分も拡げることにより、より多くの方を精密検査、その後の治療や適切なフォローアップへ繋げることが推進される。

【継続】肝がん年齢調整死亡率(人口10万人対)を低減させる。

(平成29年10月設定)

評価指標:肝がん年齢調整死亡率

男性 18.0(2013)を15.7(13%減)以下に

女性 5.9(2013)を5.3(10%減)以下に

島根県健康指標データベースシステム(SHIDS)を用いて算出される5年平均値

初期設定値は2011年から2015年(中央年2013)の値

島根県肝炎対策推進基本指針(平成24年3月策定・平成29年3月改訂) — 抜粋 —

(1) 基本的な考え方

・・・(省略)・・・

〇県は、目標値を設定し、定期的にその達成状況を把握し、その結果を施策に反映させ、肝炎対策を進める。